

住宅バリアフリー改修ノート

木造住宅の高齢者対応研究

2008～2009年度

財団法人 トステム建材産業振興財団(現 公益財団法人LIXIL住生活財団)

<http://www.lxiljsfound.or.jp/article/14291892.html>

業務概要

目的

高齢化による身体機能低下に伴い、住宅内での生活動作の改善が必要となるが、自宅の改修を行う時に、発注者（高齢者本人、家族）、ケアマネジャー等の専門職の支援者、設計者、施工者などの関係者が、適切な手順（プロセス）で改修検討できる冊子を作成した。

概要

高齢化対応の住宅改修では、単にバリアフリーのディテールをそのまま導入するだけでは、必ずしも特性のある生活動作に適切に対応できないことから、ケアマネジャーや理学療法士、作業療法士等の専門職のアドバイスを得ながら、改修内容を検討することが望ましい。そこで、発注者と施工者がバリアフリー改修の基本を理解しながら、改修内容について打合せしつつ専門職のアドバイスを受けて、適切な改修内容に到達できる手順を示し、検討内容を冊子の中に記録していく「ワークシート」を編集した。なお、改修に設計者が関与しない場合でも、「改修の考え方（技術の解説）」と「ワークシート」を活用することで、間違いのない改修に導くことをねらった。また、編集に際し改修事例を視察し、発注者・専門職・施工者からヒアリングを重ね、実態を反映させた。

改修ノートの概要

名称

依頼者と共に作る 住宅バリアフリー改修ノート 木造住宅の高齢者対応マニュアル

編集の特徴

- ・改修内容を決定するまでの手順（プロセス）を明示し、本人や家族介助者にとって適切な改修方針を導きだせるようにした。
- ・本人の身体状況や生活動作、介助者の動作を確認し、改修の条件を整理できるようにした。
- ・部屋ごとに改修内容の基本的なポイントを明示し間違いの防止に対応した。
- ・ワークシートに改修の検討内容や改修スケッチを書きながら「本人や家族、介助者」と「設計者や施工者」が検討内容を共有できることで、「思い違いの防止」「検討内容の記録」が可能となるようにした。



バリアフリー改修の手順

- ①現状把握
- ②要望の確認・改修目標の設定
- ③改修方針の設定（家具の整理や住まい方の工夫、福祉用具・福祉サービスの利用も検討）
- ④改修案の検討と決定
- ⑤改修工事の実施とフォロー

パンフレットの内容

* ページの右側がワークシートで、打合せ記録や検討スケッチを保存できる

